

令和 6 年 2 月 2 7 日

各 局 区 等 の 長 様

副 市 長
(担当 行財政局財政室)

令和 6 年度当初予算の第二次編成について（通知）

1 市政運営に当たっての基本的な考え方

京都には、全国初の番組小学校、コミュニティスクールをはじめ、全国に先駆けて、市民の皆様が主体的にまちづくりに参画し、支え合ってきた誇るべき文化があり、地域コミュニティの活性化につなげてきた歴史がある。

人口減少、少子高齢化など、社会情勢が変化する中であっても、地域コミュニティの力を維持・向上させ、京都の魅力を更に高めるとともに、日本中・世界中から京都に住みたい、住み続けたい、働きたい、活躍したいと思われるまちづくりを進めていかなければならない。

このため、高齢の方から働き盛りの方、若い方、そして未来を担う子どもたちまで、すべての方々が互いに支え合い、個性を発揮していきいきと活躍される、「居場所」と「出番」のあるまちをつくる。そして、「新しい公共」の発想で、市民の皆様が、主体的に市政に御参加いただき、対話を重ねながら課題解決を図る、市民参加型の行政を進め、市民の皆様を主役とした、「突き抜ける世界都市 京都」を実現する。

実現に当たっては、以下の 6 つの基本政策を「重点政策分野」に位置付け、施策を推進していく。

- 市民第一主義で人々から選ばれるまち京都～子育て・教育環境の充実～
- 突き抜ける魅力のある文化首都・京都
- 文化首都を支えるつよい経済の復活 京都を日本のシリコンバレーに
- すべての人に「居場所」と「出番」のある京都
- 全国に先駆ける京都型共生社会モデルの形成
- いのちとくらしを守る防災・減災対策

2 第二次編成について

松井市政の出発点となる、令和6年度当初予算の「第一次編成」では、市政運営に停滞を来さないよう、義務的な事業や継続事業を計上するとともに、市民の皆様のいのちと暮らしを守るために必要な防災・減災対策の強化、市民生活と観光との両立に向けた混雑対策や受入環境整備等の強化など、年度当初から実行が必要な新規・充実事業等を計上したところである。

第二次編成に当たっては、冒頭の「市政運営に当たっての基本的な考え方」を十分に踏まえ、若者の流出をはじめとした人口減少、観光課題、財政構造など、京都が抱える行政課題に対して、定住・移住の推進、子育て・教育環境の充実、地域で見守り支える仕組みの推進、力強い文化・産業政策などの成長戦略を推進していく。

そして、内外の人々が京都に集い、すべての方々が互いに支え合い、個性を発揮していきいきと活躍できるよう、京都のまちの更なる活性化を図っていく。

施策の構築に当たっては、京都の現状・課題について、市民の皆様の御意見や、他都市事例を幅広く積極的に把握するとともに、これまでの取組の総括・評価を実施すること。また、政策目的に沿った効果的・効率的な制度設計を行い、限られた財源を有効に活用すること。

財政担当局長からの作成要領に基づき予算見積書を作成することとし、令和6年3月7日までに、財政担当局長に提出すること。